

あなたの「気になる橋」をお寄せください。

読者の皆さまの気になる橋をご紹介ください。ご当地自慢の橋、その橋にまつわるエピソード、橋の疑問などなど、橋にまつわる事なら大歓迎です。

宛先
 〒153-0064
 東京都目黒区下目黒3-5-16 パームコート1F
 NPO人と道研究会
 編集制作室 宛



1984(昭和59)年に完成した、橋長99mのニールセン・ローゼ橋。アーチ部材と補剛桁の間にケーブルを網目状に張ることで、全体の重量を軽くすることができ、たわみ振動の面で有利になる構造を持っています。

おすすめはこれ
末吉橋

道の駅「みき」から約34km
 兵庫県三田市

橋がなくなつた みんなの未来

Bridges bring our brighter future. vol.12

新シリーズ 道の駅と日本の橋 ②

地域の名産物を生み多様に発展している道の駅から、地域と地域、人と人をつなぎ、歴史やドラマをつくってきた橋を訪ねる旅を続けましょう。

2002(平成14)年完成。主径間部分が2径間連続の斜張橋で、全長477m、2車線。主塔などに地震計、傾斜計、温度計が設置され、安全性や耐久性などのデータが定期的にチェックされています。



開通の際、工事担当の北海道庁帯広土木現業所が名前を一般公募したところ、日本一きれいだと地域の人々が誇る札内川の清流と、周辺に群生するケシヨウヤナギにちなんだ命名が採用されました。周辺環境とこの命名

に配慮して、橋も緑色の北海道庁帯広土木現業所に彩られ、高さ50mの主塔上部から下部にかけて色が濃くなるグラデーションになっています。帯広市と喜別、音更、芽室町などをつなぐ帯広都市圏の環状道路として開かれた新道で美しい橋です。開通式には約2千人が集まり、幼稚園児たちが飛ばした鳩型風船(環境汚染にならないよう、落ちると土になる材質)に拍手喝采したとの記録が残っています。環状道路は現在8割が完成していますが、帯広土木現業所では「完成したところでは狙い通りの地域振興効果を発揮しています。札内清柳大橋周辺では特に、帯広中心部への交通が便利になったとして幕別町の住宅開発が進みました」と振り返っています。

おすすめはこれ
札内清柳大橋

北海道帯広市・幕別町
 道の駅「足寄湖」から約50km

橋のコラム
 富士山には橋が似合う

富士に映え 暴れ川・富士川に架かる橋



東名高速道路・富士川橋(ふじかわはし) 静岡県・富士市 道の駅「ふじおやま」から約50km(東名高速道路利用)

カレーが私たち日本人の夏の「国民食」であるなら、「国民的」景色の代表は富士山ではないでしょうか。そして、ドライブの途中、気軽に富士山の雄姿を堪能するには、手前に富士川を配置した、この東名高速道路・富士川SAからの眺めがおすすりです。

さて、日本三大急流に数えられるこの富士川。かつて橋のない時代の川渡りは旅人には大変な難儀でしたが、現在は国道1号線や東名高速道路、東海道線、

東海道新幹線など、それぞれの富士川に架かる「富士川橋」が膨大な人や物資の往來を支えています。しかし、今日でも暴れ川として知られる富士川は台風シーズンには急増水することもしばしばです。これらの「富士川橋」の独自の構造や力強いデザインは、人知れず災害に立ち向かっている雄雄しさを秘めています。だからこそ、橋の姿がいつそ私たちを惹き付けるのでしょう。さあこの夏、ホットなカレーで思いきり汗をかき、力強い日本の風景に触れて暑さを吹き飛ばしませんか。

人気の高い水辺の観光スポットであり、特に、釣りファンにはブランクバス釣りのメッカとして知られる千丈寺湖。末吉橋は、湖中心のくびれた部分をまたいでいる美しいアーチ橋です。千丈寺湖は、同県施工の青野ダム(貯水量約1万5千トン)建設

により1984(昭和59)年に完成した人造湖。周辺には1980年代から約10年がかりで兵庫県と旧住宅・都市整備公団の開発した総面積1200㎡の北摂三田ニュータウンがあり、これに伴う周辺水需要急増対策として設けられました。末吉橋も、このダム建設で沈んだ県道の付け替えにより同時に生まれたものです。三田市では、末吉橋を境に自然を利用するゾーンと保全するゾーンに分け、各施設を解放しながらも環境保全に力を入れています。

湖畔にはテニスコートなどの運動公園、多自然型魚道公園、ダム記念博物館など多様な環境整備が施されているので、末吉橋のデザインも環境との調和が優先されました。

1923(大正12)年に完成した旧「山彦橋」の代替として、1986(昭和61)年に完成したアーチ橋。橋長166m、中央支間100m。宇奈月駅近くの「やまびこ展望台」は、新旧山彦橋を望める絶好の撮影スポット。



北アルプスから日本海へ、黒部川が巨大なV字に刻んだ長さ86km、標高差3kmの黒部峡谷。その緑濃い断崖絶壁を縫って走るトコ列車は、命の保証はしツコ列車は、車内を存分に吹き抜ける風がヒンヤリ心地よく、今夏も観光客でにぎわっています。黒部峡谷鉄道本線・宇奈月駅を出てすぐ渡る赤い鉄橋が、観光客の歓声、嘆声が上がります。黒部峡谷鉄道本線、延長約20kmの区間に計21の鉄橋があり、スタターでもおなじみの「新山彦橋」です。渓流からの高さが60m流からの高さ40m。電車が妨げられないように車からのぞき込むとめまいがするほどで、乗客の歓声、嘆声が上がります。「新山彦橋」下流に、宇奈月温泉街でやまびこのように聞こえ、現在は遊歩道、というのが命名起ります。

おすすめはこれ
新山彦橋

富山県黒部市・宇奈月温泉
 道の駅「万葉の里高岡」から約74km



旅人 橋之助